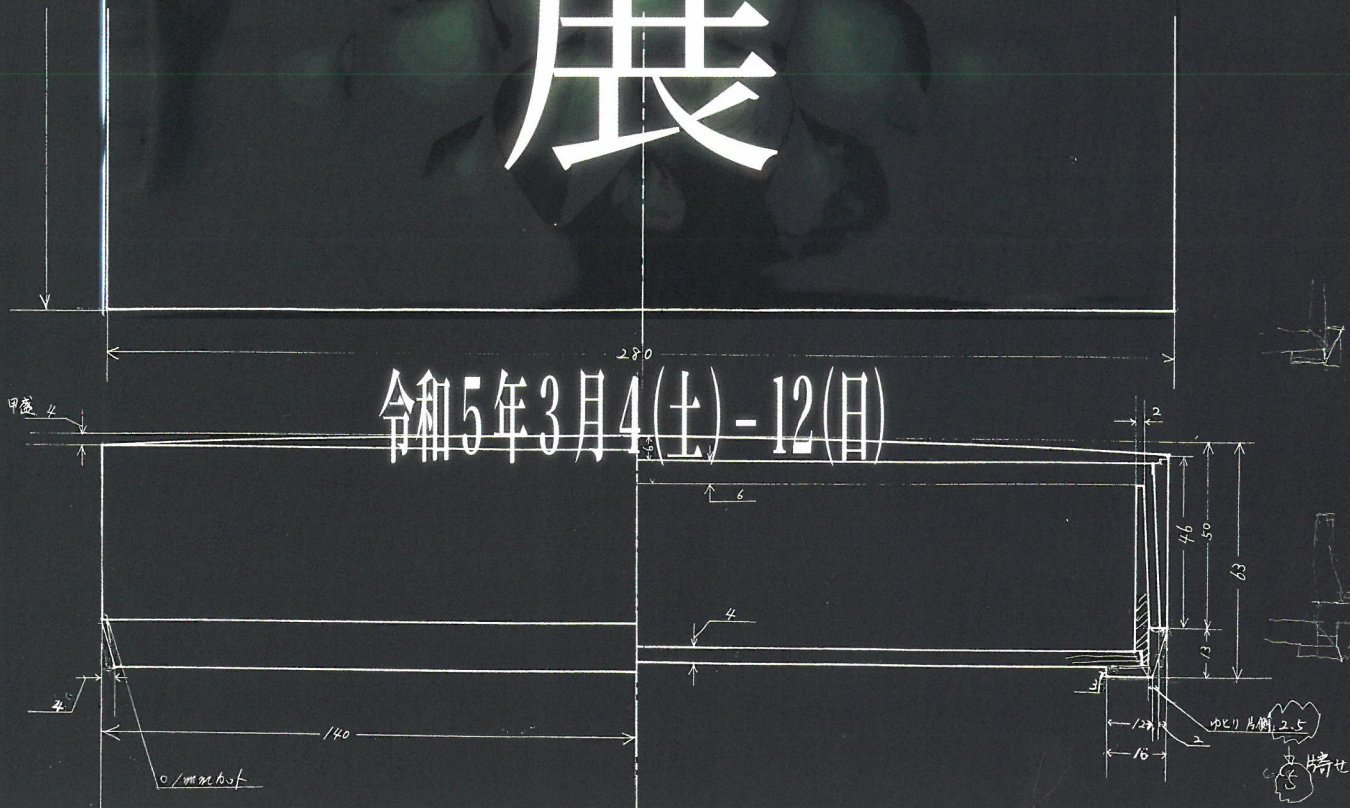


漆研展

令和5年3月4(土) - 12(日)



香川漆芸研究所
修了作品展

午前9時・17時(最終日15時まで)
会期中無休・入場無料

香川県漆芸研究所(香川県文化会館)
〒760・0017
香川県高松市番町一丁目10番39号
TEL 087・831・1814



漆研展

香川県漆芸研究所 修了作品展

令和5年3月4日(土) - 12日(日)

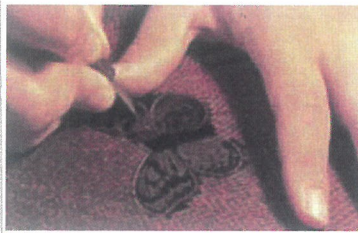
午前9時~17時(最終日15時まで) 会期中無休・入場無料

香川県漆芸研究所は、江戸時代から受け継がれてきた香川漆芸の技法(蒔醬・存清・彫漆)の伝承と後継者育成を目的とする全国初の施設として昭和29年に発足しました。創立以来、磯井如真、音丸耕堂ら重要無形文化財保持者(人間国宝)をはじめとする優れた指導者を講師として迎え、高い技術と精神を伝承してきました。現在までの修了者は457名です。技と心は受け継がれ漆芸作家や漆工技術者として、香川の伝統工芸や伝統産業の振興に寄与しています。



蒔醬(きんま)

漆を塗り重ね、剣で文様を彫り込み、彫り込んだ溝に彩漆を埋め、表面を平らに研ぎ、意図した文様を表現する技法。



存清(ぞんせい)

漆を塗り重ね、彩漆で文様を描き、剣で輪郭や細部に線彫りを施し、彫り口の凹部に金粉や金箔を埋めて文様を引き立てる技法。



彫漆(ちょうしつ)

各種の彩漆を数十回以上重ねて漆の層(100回で厚さ約3mm)を作り、その層を彫り下げることによって文様を浮き彫りにする技法。

香川漆芸の技法:彫刻刀や剣による彫りの技術と、黒や朱に加え、彩漆(いろうるし)による色彩豊かな漆の使用が特徴である蒔醬(きんま)・存清(ぞんせい)・彫漆(ちょうしつ)の技法を「香川の三技法」といいます。また、竹ひごを籠状に編んで器物とする籃胎(らんたい)も香川独特の素地制作の技法です。本展では、これらの技法を用いて制作した作品を展示しており、一部ご購入いただくことができます。

新型コロナウイルス感染拡大防止: ご観覧の際には、当館が実施する感染防止対策にご協力いただきます様をお願いします。



香川県漆芸研究所 香川県文化会館

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目10番39号

TEL 087-831-1814 FAX 087-831-1807

E-mail shitsugei@pref.kagawa.lg.jp

URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/sitsugei/>



交通案内

JR高松駅から南へ1.2Km 徒歩約20分

ことでん瓦町駅から西へ1Km 徒歩約15分

ことでんバス「市役所西」下車 徒歩2分

ことでんバス「県庁・日赤前」下車 徒歩4分

高松空港から空港リムジンバス35分「県庁通り中央公園前」下車徒歩5分

高松中央ICから 車20分

※当館に來客者用の駐車場はありません。近隣の駐車場をご利用ください。